

議会報告会報告書

開催日時	平成28年7月6日（水）午後1時58分 終了：午後3時40分	
開催場所	鶴来総合文化会館クレイン 研修室1	
対象団体	白山市更生保護女性会	
参加人数	20人	
班構成	C班	安実 隆直、永井 徹史、宮岸 美苗、清水 芳文 前多 喜良、西川 寿夫、中西 恵造
役割分担	リーダー：前多、司会：宮岸 報告：当初予算－西川、主な事業（総務）－清水、（文福）－永井 （産建）－安実	

(質疑応答)

(質問1)

白山開山1300年記念のマグカップやピンバッチなどの記念グッズは、一般市民が購入できるのか。

(答 弁)

観光課や市観光連盟で購入できる。なお、記念ポロシャツについては、個人申込は受け付けていないが、団体申込なら販売を検討している。(※現在は個人購入が可能)

(質問2)

去年の北陸新幹線金沢開業により、多くの観光客が来ているが、一方で新幹線を使った多額な詐欺も発生するなど、犯罪も多様化している。白山駅を建設することで、さまざまな人の出入りが想定されるので、犯罪についても考える必要があるのではないかと。

(答 弁)

白山駅の建設が決まれば、白山駅が犯罪の温床にならないように、防犯カメラの設置などを提案していきたい。なお、振り込め詐欺については、警察などの関係機関と協力して周知や啓蒙などの活動を強化しているが、行政だけでは難しいところがあるので、各家庭で確認や議論などをお願いしたい。

(質問3)

こども食堂は、満足に食事を与えることができないひとり親家庭にとってはよい事業だと思うが、今後も継続していくのか。

(答 弁)

今年度は試行段階で市内のひとり親家庭800世帯を対象にしており、応募があれば順次受け入れる予定。継続については、この事業を通して親子の交流や子供が笑顔で食事をするようになったなどの効果を踏まえて、各地域にも賛同いただくなど、さらに活動が広まっていけばいいと思う。

(質問4)

美川地域の小学校周辺の通学路には防犯カメラは設置されているのか。特に蝶屋小学校においては、結構離れた町から通学しているので要所要所に設置してほしい。

(答 弁)

美川地域の小学校周辺の通学路には防犯カメラは設置されていないと思う。安全・安心に通学ができるよう防犯灯や防犯カメラなどを設置して、犯罪を未然に防ぐ環境づくりが大切なので、要望していきたい。なお、市では自動販売機の会社に協力を依頼して、自動販売機に防犯カメラが設置されているので、このようなことも推進していきたい。

(質問5)

健康増進を目的に地区でラジオ体操を継続しており、通院する回数が減るなどの一定の効果が表れているが、国保の支出は減っているのか。

(答 弁)

国保の支出は徐々に上がっている。国では医療制度改革に取り組んでいるが、国民全体が大病院ではなく診療所に通院することや、ジェネリック医薬品を使うなど、医療費削減を意識して取り組まないと抑制できない。なお、次期の総合計画の将来都市像では「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」としており、医療費がふえないように健康増進に努めてほしい。

(質問6)

タニタと連携する健康寿命の延伸のまちづくり事業は継続していくのか。また、市内にタニタ食堂のような食堂を開くことは考えていないのか。

(答 弁)

健康づくり事業の年会費は、1年目は3,500円で2年目以降は2,000円としており、継続性のある事業を考えている。また、キッチンカーを利用して、タニタ監修の地産地消の料理を提供する取り組みなどが予定されている。他の自治体でもタニタと連携して独自の健康増進の施策に取り組んでおり、文教福祉常任委員会では先進的に取り組んでいる自治体へ視察を行い、よりわかりやすく市民に伝える努力を続けていきたい。なお、食堂については、市役所地下の食堂で試行してはどうかという意見も出ているが、結論には至っていない。

(質問7)

タニタ監修の食事を学校給食に取り入れることは考えていないのか。

(答 弁)

まずは市民向けの事業を考えている。なお、給食については、各学校で地産地消の使用割合を高めるよう先駆的に取り組んでいる。

(質問 8)

ジャパンディスプレイの揚水と民営簡易水道について詳しく教えてほしい。

(答 弁)

本市は水が豊富ということもあり、ジャパンディスプレイで大量の揚水を予定しており、敷地内に新たな井戸を1本、竹松町地内に市の工業用水道を2本掘って供給することになっている。現在の水位調査では、地下水の低下は余りないという結果が出ている。しかしながら、水位が低下して住民に迷惑をかけることや、環境面で問題が起きた場合は、市が工業用水道の調整を行うことや、工場の稼働制限を視野に入れることで今回の計画に至っている。次に簡易水道については、松任地域の民営簡易水道の割合は全国的にも見ても非常に高い比率で、それぞれの集落で管理運営しているが、年数が経てば井戸やポンプの更新などの維持管理が負担になっている。そこで市の上水道につなぐことで安定した地下水の供給や、水質管理も市が行うことになるので、市内全域を配水区というエリアに分ける新しい水道ビジョンが計画されている。

(質問 9)

以前に市では県から委嘱されて、刑務所から出所してきた方を受け入れて就労支援をしていたと思うが、現在の状況はどうか。

(答 弁)

取り扱いには慎重を要する内容でもあり、公表されていないと思われる。現状は把握していないので、執行部に確認したい。

(質問 10)

手取川の濁水に関するこれまでの経過と現在の状況を教えてほしい。

(答 弁)

昨年5月の連休あたりに手取川上流の中ノ川付近の斜面幅300メートル、高さ500メートルにわたって大崩落して、大変な泥水が出た。市としては、早急に地元の国会議員にお願いするとともに、国や県に要請して各省庁を横断した連絡協議会を設置していただいた。去年の秋から凝固剤の吹き付けや土留めの石の投入などの応急対策工事を行い、雪解け後の調査では、一部に剥離した部分が見られるものの一定の効果が見られた。ことしの濁水については、去年のように田んぼの水口に泥が堆積することなく、市にも濁水被害に関する連絡は寄せられていない。なお、ことしの対策工事は既に始まっており、ヤナギの投下や種子の吹き付け、土留めや凝固剤の吹き付けは去年の倍ほどは実施していくことを聞いている。しかしながら、今後新たな崩落の可能性もあるので、議会としてしっかりとチェックしていきたい。

(質問 1 1)

トミヨ（はりんこ）の生息が極めて厳しい状況であることを聞いた。天然記念物に指定されているので、絶やさないように取り組んでほしい。

(答 弁)

トミヨは美川地域のきれいな湧水で生息しているが、去年は濁水等の関係から地下水が低下し湧水が出なく、トミヨの生息に困難な状況だった。また、美川地域の地下水の低下に関しては、昨年 1 2 月に冬期湛水を試験的に実施して、地下水が上昇する一定の効果があった。その結果を検証するため、ことしは石川県立大学に地下水のメカニズムと濁水との関係を調査していただくことになっており、その結果をもとに対策をしなければならないと思っている。

(質問 1 2)

男女共同参画の推進とともに女性の社会参加により、家族の負担が大きくなっていることを聞いた。男性の育児参加など女性が安心して出産でき、子育てしやすい白山市になってほしい。

(答 弁)

男性も女性も適度に仕事をして、ともに子育てできる環境が男女共同参画である。白山市は男女共同参画宣言を行い、行政が率先して男女共同参画を推進するため、市の男性職員は育休を取得しており、今後、民間企業においても伸びていくことが望ましい。また、市の子育て支援としては、昨年から子供医療費の無料化や就学支援にも取り組んでいる。

備 考	
-----	--